

【NO 476】

令和3年1月

## 西之表港港湾計画一部変更に伴う航行安全対策調査専門委員会

### 1 委員会報告書概要

本委員会では、西之表港において耐震強化岸壁の整備等を港湾計画に位置付けるための港湾計画一部変更に係る船舶航行の安全性について調査・検討し、必要な航行安全対策を取りまとめた。

本港湾計画一部変更では、既定計画の洲之崎地区公共ふ頭計画を変更して5,000GT級RORO船用耐震強化岸壁として位置付ける計画、さらに、その東側に既定計画の小型船だまり計画の岸壁延長等を変更して250GT級漁船及び5GT級漁船を対象とした岸壁及び物揚場等を整備する計画であり、各計画について係留施設と対象船舶の諸元等との関係を「港湾の施設の技術上の基準・同解説（平成30年5月）」に基づき整理・確認するとともに、操船例図を用いて水域施設等と対象船舶又は隣接岸壁利用船舶との関係について調査・検討した。

この結果、航路・泊地等の必要水深の確保や係留施設の規模については問題ないことを確認したが、港口から洲之崎地区岸壁に至る航路及び航路・泊地においては、中央地区又は天神地区の岸壁に入出港する船舶との競合が予想されることから運航調整を行う必要があること、更に操船負荷を低減するために航路・泊地と航路との接合部にすみ切りを考慮すること等提言した。

### 2 調査等概要

- (1) 調査計画
- (2) 港湾計画一部変更の概要
- (3) 航行環境
- (4) 検討課題の抽出及び検討方針
- (5) 港湾計画一部変更に係る安全性の検討
- (6) 航行安全対策